

(別紙1)

実績報告書

事業の名称	上宇部校区の学校・地域住民からの「宇部市ごみ減量解決方策」の提言とりまとめ事業		
団体名	ESD うべ推進協議会		
総事業費	250,000 円	助成金交付額	200,000 円

【事業の概要】

実施期間	(開始日)	(完了日)
	平成 30年 7月 1日 ~ 平成 31年 3月 7日	
実施内容	「実施回数」上宇部食育イベント 2回 「実施場所」上宇部小学校 及び 上宇部中学校 「対象者」上宇部小学校 及び 上宇部中学校の生徒、保護者、留学生及びその家族、地域の協力者 「実施内容」食育及び生ごみ減量の体験 「実施体制」ESD うべ推進協議会、上宇部地区の小中学校、宇部高専、山口大学工学部の協働体制を組んだ。 「実施方法」食育のための調理と生ごみの脱水実験 地域の子ども達と保護者、山口大学工学部及び宇部高専の留学生と家族を対象とする「食育」イベントを上宇部中学校及び上宇部小学校において合計2回開催しました。このイベントは、環境・ごみ減量に関する研修会と、インターナショナルな料理の共同調理と会食、その後のフリートーキングをメニューとしました。当初、食育イベントは3～4回開催する計画でしたが、学校側の行事日程との調整が難しく、7月と2月の合計2回の開催となりました。このイベントにおいて、上宇部中学校及び上宇部小学校の生徒、山口大学工学部及び宇部高専の留学生と家族、地域住民の方々が参加して、環境問題（特に家庭生ごみの減量）について議論の輪を広げました。実施内容については本報告書に添付の実施報告書冊子をご参照ください。	
* 「実施回数」	「実施回数」ごみ減量に関するパブリックディベート大会の実施 (1回) と宇部市へのプレゼンテーション (1回)	
「実施場所」	「実施場所」ヒストリア宇部及び宇部市役所	
「対象者」	「対象者」高校生、高専生、大学生及び一般参加者	
「実施内容」	「実施内容」ごみ減量に関するパブリックディベート大会を企画・実施した。	
「実施体制」	「実施体制」ESD うべ推進協議会、慶進高校、香川高校、宇部高専、うべ環境コミュニティーから実行委員を選出して、実行委員会が企画・実施した。	
「実施方法」等を具体的に書いてください。	「実施方法」パブリックディベート大会に4チームが参加して	

	<p>ディベートを行った。</p> <p>ユース層（高校生、高専生、大学生など）のグループを作り、宇部市のごみ減量の方策をまとめ、自分たちの意見をディベートのよって高めあうパブリックディベート大会を12月にヒストリア宇部を会場として開催しました。その結果を踏まえた総合討論により、具体的に宇部市に提言できる内容を整理して、1月に宇部市市民環境部に対してのプレゼンを実施しました。実施内容については本報告書に添付の実施報告書冊子をご参照ください。</p> <p>上記の主要行事に加えて、8月にESDうべ推進協議会主催の「第1回ESD研修会」を開催しました。また、東岐波小学校における環境教育や藤山校区（藤山小学校・鶉の島小学校）の生徒を対象とした環境教育の実施に対して、一部の実施のための補助を行いました。</p> <p>各行事の参加者数を下記に示します。</p> <table border="0"> <tr> <td>7月上宇部食育イベント</td> <td>43人</td> </tr> <tr> <td>8月ESD研修会</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>10月東岐波法学校環境教育</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>12月ディベート大会</td> <td>53人</td> </tr> <tr> <td>1月宇部市市民環境部プレゼン</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>2月鶉の島小学校環境教育</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>2月上宇部食育イベント</td> <td>25人</td> </tr> </table>	7月上宇部食育イベント	43人	8月ESD研修会	35人	10月東岐波法学校環境教育	14人	12月ディベート大会	53人	1月宇部市市民環境部プレゼン	20人	2月鶉の島小学校環境教育	25人	2月上宇部食育イベント	25人
7月上宇部食育イベント	43人														
8月ESD研修会	35人														
10月東岐波法学校環境教育	14人														
12月ディベート大会	53人														
1月宇部市市民環境部プレゼン	20人														
2月鶉の島小学校環境教育	25人														
2月上宇部食育イベント	25人														
参加者数等	参加者数 215 人、スタッフ 27 人														
事業の成果・効果	<p>先に私共は、「台所ごみの脱水による水分減量を32g／一日／一人を実現する」と言うテーマで、宇部市のごみ処理経費の削減についての提言を行いました。本年度実施した、上宇部地区の2回にわたる食育活動のなかでの生ごみの脱水実験、更に脱水機を家庭に持ち帰っての生ごみの脱水実験結果を持ち寄った結果、表記の「台所ごみの脱水による水分減量を32g／一日／一人を実現する」と言う課題は十分可能であることが分かりました。</p> <p>上記の脱水作業を宇部市民が漏れなく実施した場合の、生ごみの水分量の減量は宇部市の人口17万人として、次の式で予測されます。</p> $\begin{aligned} \text{年間の生ごみの水分量の減量} &= 32\text{g} \times 17\text{万人} \times 365\text{日} \\ &= 1990000000\text{g} / \text{年} \\ &= 1990\text{トン-水} / \text{年} \end{aligned}$ <p>灯油の価格を100円／リットルとして、上記の水分をごみ処理施設で蒸発させるために必要な油の経費は、平成30年度のごみ減量アイデアコンテストの提案書に記載したように、年間2260万円の削減が可能であると推定されます。</p> <p>宇部市の人口を17万人、世帯数を8万戸として、1戸当たり</p>														

